

日本チャリティショップ・ネットワーク

チャリティショップの普及に向けた 情報発信・参加者育成・相互支援事業

活動地域



人、モノ、想いをつなぐ
チャリティショップ



課題

チャリティショップは不用品の再使用、非営利活動への寄付等を促進しているが、店数が少ない、新規設立のハードルが高い、参加者の世代的偏りなどの課題がある。

目標

情報発信(知らせる)、参加を拡げる体制作り(つながる)、サポート体制の強化(ひろげる)の三つを軸に活動を展開し、チャリティショップの普及と発展を目指す。



今後の
展望

CS設立に関する問合せが増えているため、設立から運営が軌道に乗るまでをサポートしていきたい。2022年度は、講演会の開催、CSの機能を伝える動画の制作、CS設立ガイドブックの制作等を予定している。

ひろげる助成
1年目
知識の提供・普及啓発

動画視聴数

412回

設立・運営サポート
対象者数

10人/団体

今年度計画の達成度

90%

目標達成度

40%

苦労した点と工夫した点

苦労した点

新型コロナウイルス禍で面談活動などを行うことが難しかった。また、動画撮影の際も、対策に気を使った。

工夫した点

新型コロナウイルス禍でも多くの人々にチャリティショップについてPRできるように、比較的短めの動画を作製した。



オンラインで行った運営委員会

〒461-0002

愛知県名古屋市東区代官町39-18

日本陶磁器センタービル5階

E-mail : jimu@charityshop.jp

HP : http://charityshop.jp/

